
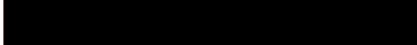


第1学年 英語科学習指導案

単元名： Unit2 Our New Teacher

指導者：

- 1 日 時 : 令和3年6月28日(月) 第6校時
- 2 場 所 : 
- 3 学年・学級 : 
- 4 単元名 : Unit2 Our New Teacher

(1) 単元観

本単元は、新しいALTと生徒たちが学校で会う場面が描かれている。初対面の人を紹介したり、町にあるものを紹介したり、互いの普段の行動について伝え合ったりするなど、生徒自身も経験したことのあるような馴染みのある会話で構成されている。

〔知識及び技能〕に関する事項としては、学習指導要領外国語 第2章 2内容(1)英語の特徴やきまりに関する事項のうち、This(That) is～やHe/ Sheなどの代名詞を使った文やbe動詞、what, who, howの疑問文を扱う。そして、それらの知識・技能を活用して、〔思考力・判断力・表現力等〕に関する事項(2)ウ「日常的话题や社会的な問題について、伝える内容を整理し、英語で話したり書いたりして互いに事実や自分の考え、気持ちなどを伝え合うこと」の能力を育成する。

日常の場面でよく話題になる題材を通して、より多くのクラスメイトとコミュニケーションすることで、お互いをより深く知り、伝え合う力をつけることができる単元である。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

生徒たちは、本単元までにAre you～? Do you～? Can you～?を使って相手のことを知ったり、I'm～. I can～. I play/ likeなどを使って自分のことを伝えたりする表現を学んでいる。

全体的な課題としては、「話す(やりとり)」場面を設けてもなかなか英語を使わない生徒や、特定の友達としか活動しない生徒が多いことである。しかし、「書く」活動では、自分が本当に伝えたいことや面白い内容を、辞書を使いながらなんとか伝えようとチャレンジする生徒が多い。支援を必要とする生徒は、自分からコミュニケーションをとることが難しい生徒や、相手からの質問に反応することが苦手な生徒、自分の考えが浮かばない生徒など含め、5人程度である。

4月末に行ったNRT(英語)の結果は、知識・技能65.1(全国比+2.0)、思考・判断・表現44.6(全国比-2.3)であった。具体的に、中領域(全国比より少ないもの)は以下の通りである。

内容(中領域別)	学級	全国
日常生活の情報を聞き取ること	40.5(-16.2)	56.7
会話や説明の概要を聞くこと	39.2(-7.5)	46.7
◆やり取りしながら話すこと	<u>44.4(-7.0)</u>	51.4
身近なことを発表すること	58.8(-8.7)	67.5
◆語順や字間を意識して書くこと	<u>43.2(-3.5)</u>	46.7

また、同時期に行ったhyper-QUでは、学級の状態として「生徒たちの人間関係の形成がやや弱く、友人関係が限定的で、協同し楽しさを分かち合うような場面が少ない」という結果が出ている。新たな人間関係を作ることに自信がない生徒や、固定化した人間関係で満足している現状がある。

(3) 指 導 観 (指導改善のポイント)

本単元が人を紹介する内容であることを踏まえ、好きな人物の魅力について簡単な語で説明する言語活動を通して、伝える力を育みたい。また、主体的な学びのポイントである「既習事項とのズレ」を、「クラスメイトに対して持っていたイメージとのギャップ」と捉え、普段あまり話さない相手とのやりとりも仕組むことで、お互いの理解を深められるように展開する。

好きな人物については、スポーツ選手、アイドル、歌手、俳優、芸人などの選択肢を挙げて活動に入ることで多様な意見が出やすいようにし、コロナ禍でも安心して活動できるよう、席に座ったままワークシートを回しながら「即興で書くこと(やりとりすること)」を通して、クラスメイトの意外な一面を発見したり、自分との共通点を見つかったりする楽しさを感じさせたい。

さらに、その活動を通して、「実際にこのクラスメイトと会話したい」「次はこんな質問をしてみたい」と生徒自身が思えるような、次の学びに向かう姿も育成したい。

(4) 本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の4点である。

【知識及び技能】			
【思考力, 判断力, 表現力等】	① 伝える力	② 問題解決能力	
【学びに向かう力, 人間性等】	③ 協働する力	④ 公共心	

この中から、本単元で育成しようとする資質・能力は次の1点に重点を置くものとする。

【思考力, 判断力, 表現力】 ① 伝える力

身近な人や話題について伝え合ったり、疑問に思うことを知るために、簡単な語句や文を用い即興でたずねたり伝えたりして表現している。

5 単元の目標と評価規準

○ 単元の目標

・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。

○ 単元の評価規準

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力	主体的に学習に取り組む態度
[知]・This (That, He, She) の文型, 意味, 用法を理解している。 ・疑問詞 what, who, how の文型, 意味, 用法を理解している。 ・be 動詞と一般動詞の文型・意味・用法を理解している。 [技] それらを用いて, コミュニケーションを行う技能を身に付けている。	身近な人やものについて伝え合ったり, 疑問に思うことやお互いのことをより良く知るために, 簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりしている。	身近な人やものについて伝え合ったり, 疑問に思うことやお互いのことをより良く知るために, 簡単な語句や文を用いて即興でコミュニケーションを行おうとしている。

6 指導と評価の計画 全12時間 (本時は8/12)

次	学習内容 (時数)	評価					
		知 技	思 判 表	主 体 的	評価 規 準	評価 方 法	資 質 ・ 能 力 (評 価 方 法)
1	・人を紹介する ・p.20 本文理解	◎			〔知技〕 This (That, He, She) を用いた文の理解をもとに、先生について書かれた文章の内容を理解する技能を身に付けている。	ノート ワーク	
2	・be 動詞の使い方・ 文の形を知る	◎			〔知技〕 be 動詞と一般動詞の文型・ 意味・用法を理解している。	ワーク	
3	・先生や、好きな人 物を紹介する		◎		〔思・判・表〕 身近な人について、簡 単な語句や文を用いて書いたり、即 興でたずねたり答えたりしている。	ワ ー ク シ ー ト	①伝える力 身近な人を紹介する ために、その人のでき ることなどについて、 簡単な語句や文を用 いて3文で書いている。 (ワークシート)
4			◎	〔主〕 身近な人について、簡単な語句 や文を用いて書いたり、即興でたず ねたり答えたりしようとしている。			
5	・ものを紹介する ・p.21 本文理解	◎			〔知技〕 be 動詞を用いた文の理解を もとに店について書かれた文章の内 容を理解する技能を身に付けている。	ノート ワーク	
6	・知らない人やもの についてたずね たり答えたりする			◎	〔主〕 疑問に思うことについて、簡単 な語句や文を用いて、即興でたずね たり答えたりしようとしている。	ワ ー ク シ ー ト	
7	・p.22,23 本文理解	◎			〔知技〕 what/ who/ be 動詞を用いた 文の理解をもとに、身近な人やもの について書かれた文章の内容を理解 する技能を身に付けている。	ノート ワーク	
8	・好きな人物の魅力 について即興で伝 える (本時)		◎		〔思・判・表〕 身近な人について、簡 単な語句や文を用いて書いたり、即 興でたずねたり答えたりしている。 〔主〕 身近な人について、簡単な語句 や文を用いて書いたり、即興でたず ねたり答えたりしようとしている。	ワ ー ク シ ー ト	①伝える力 身近な人や話題につ いて伝え合ったり、 簡単な語句や文を用 い即興でたずねたり 伝えたりして表現し ている。 (ワークシート)
9	・普段の行動につ いてたずねる			◎	〔主〕 疑問に思うことや相手のこと をより良く知るために、相手の普段 の行動などについて簡単な語句や文 を用いて即興でたずねたり答えたり しようとしている。	ワ ー ク シ ー ト	

10	・ p.24,25 本文理解	◎		〔知技〕how, what を用いた文の理解をもとに、書かれた文章の内容を理解する技能を身に付けている		
11	・ ALT と、会話を する		◎	〔思・判・表〕身近な人について伝え合ったり、疑問に思うことやお互いのことをより良く知るために、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合ったりしている。 〔主〕疑問に思うことや相手のことをより良く知るために、相手の普段の行動などについて簡単な語句や文を用いて即興でたずねたり答えたりしようとしている。	ワークシート	①伝える力 身近な人や話題について伝え合ったり、簡単な語句や文を用い即興でたずねたり伝えたりして表現している。 (ワークシート)
12	・ 既習事項のまとめ、強化	◎		〔知技〕 This (That , He, She)の文型、疑問詞 what/who/how, be 動詞の意味、用法を理解している。また、それらを用いて、コミュニケーションを行う技能を身に付けている。	ワークシート	

7 本時の展開

(1) 本時の目標

自分の好きな人（「推し」）について、即興で魅力を伝えることができる。

(2) 観点別評価規準

- ◎ お互いのことをより良く知るために、好きな人物についてたずねたり、好きな人物の魅力を簡単な語句や文を用いて即興で書いたりしている。


評価方法：ワークシート

(3) 育成したい資質・能力の評価基準

資質・能力	評価基準
①伝える力	A 身近な人やものを紹介するために、その人やもの、できることなどについて、簡単な語句や文を用いて4文以上で書いている。
	B 身近な人やものを紹介するために、その人やもの、できることなどについて、簡単な語句や文を用いて3文で書いている。
	C Bを満たしていない。または、単語で書いている。

(4) 準備もの：Chromebook, テレビ, ワークシート

(5) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項（・） (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	評価規準 ○教科の事項 ☆資質・能力 (評価方法)
導入	<p>○日付・天気・時間の確認</p> <p>課題の設定</p> <p>○既習表現の確認 数人の写真を見せ、その人をどのように説明するか復習する。</p>		
	<p>○活動の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使うフレーズの確認。 My favorite ○○ is ~. He is ~. He can ~. Who's your favorite ○○○ ? <p>idol, sports player, teacher, singer, actor, comedian, character etc.</p> <p>○活動の準備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問内容準備 ・好きな人物の英作文 ・ワークシートを回す順番の確認 <p>○言語活動開始</p> <p> 生徒が輝く時間（主体的・対話的な学びの時間） ワークシートを席順に回しながら、互いの質問に答えていく。</p>	<p>【本時の目標】「推し」の魅力について説明し合い、クラスメイトの新たな一面を発見しよう。</p> <p>・ can, is , not, but, too など、多様な表現を引き出す。</p> <p>・それぞれの質問に対して、自分なら誰を答えるか、少し考えさせておく。</p> <p>◆以前使用したワークシートを参考にさせる。</p> <p>◆My favorite <input type="text"/> is ~. Who's your favorite <input type="text"/> ? の <input type="text"/> の部分に読み仮名を書かせ、質問の内容がすぐにわかるようにする。</p> <p>◆質問の答えを思いつかなかった時の書き方も説明しておく。</p> <p>・制限時間は、生徒の様子を見ながら必要に応じて変える。</p> <p>◆机間支援する。</p>	<p>○身近な人やものを紹介するために、その人やもの、できることなどについて、簡単な語句や文を用いて書いている。 (ワークシート)</p> <p>☆伝える力 身近な人やものを紹介するために、その人やもの、できることなどについて、簡単な語句や文を用いて3文で書いている。 (ワークシート)</p>

ま と め	○返事の内容確認	
	○振り返り	○ 誰についてどのような新しい発見をしたのかを書くようにする。

(6) 板書計画

Chromebook により, テレビ画面に提示

(7) ワークシート

Name:

<p>My favorite _____ is _____</p> <p>-----</p> <p>-----</p>	
<p>Q: Who's your favorite _____ ?</p>	
例)	<p>I don't have a favorite _____ . 好きな人物が思いつかない時の書き始め。</p>
Chie	<p>My favorite <u>teacher</u> is <u>Mr Tanaka</u> .</p> <p>He is nice! He can sing well. He can dance a little.</p>